

■ 「レコフ M&A データベース」 操作のワンポイントアドバイス

【第 87 回】『M&A 関連データとは？ ③持株会社』

第 85 回から 88 回までの 4 回にわたり「関連データ」についてご紹介しています。今回は「持株会社」です。

持株会社は単独で設立する場合と、複数の会社で設立する場合があります。レコフ M&A データベースでは、既存の経営資源の活用を目的とした企業や事業の経営権の移動、経営参画に繋がる株式取得を M&A と定義しています。よって単独で設立する場合には「データ種別」の「M&A」には含まれません。しかし単独設立の持株会社のデータが必要とのお声も頂いており、別途「M&A 関連データ」内で「持株会社」として収集しています。

※複数の会社による共同株式移転の場合は、「M&A」「グループ内M&A」の「合併」に含まれます。合併データを抽出、エクスポートして、「形態b」「形態c」に「持株会社」の記載があるものが共同持株会社による統合案件です

持株会社：企業が、株式移転、会社分割制度などを利用して、持株会社を設立するもの

■■【詳細表示】での表示例■■

●スキーム：株式移転

<持株会社データ>

▼持株会社 JPN/東京都/その他小売/雑貨/2928	株式移転	日付	資本金	有効日
ビジオナリーホールディングス		2017/06/20		2017/11/01

▲傘下企業 JPN/神奈川県/その他/2/3318
メガネスーパー

新設の持株会社名

メガネスーパーは、株式移転により11月1日付で新会社「ビジオナリーホールディングス」(東京)を設立し、純粋持株会社体制へ移行する。移転比率は1:1。1単元の株式数を100株とする。メガネスーパーは10月27日付で上場廃止となり、持株会社が11月1日付でジャスコ市場へ新規上場する。その後、メガネスーパーは全額出資子会社で経営コンサルティング業の目的健康(同)と合併する。機動的、柔軟な経営判断を可能とする体制のもと、ガバナンスの強化とともにグループ会社の採算性の明確化を図る。「目の健康プラットフォーム」を通じた同業のローアップ戦略、技術革新を通じた新たな市場開拓を戦略的に展開する。

●スキーム：会社分割 新設分割

<持株会社データ>

▼持株会社 JPN/東京都/化学/アパレル/2928	会社分割 新設分割	日付	資本金	有効日
健康コーポレーション(新・RIZAPグループ)		2016/05/16		2016/07/01

▲傘下企業 JPN/東京都/化学/未上場など/
新・健康コーポレーション

健康コーポレーションは、7月1日付で純粋持株会社体制へ移行する。同日付で新会社「健康コーポレーション」(東京)を設立し、会社分割により管理部門を除く全事業を分社する。対象事業は売上高65億1200万円。健康コーポレーションは社名を「RIZAPグループ」に変更し、知名度の高い「RIZAP」ブランドを活用する。グループ全体戦略の構築と実行、グループの最大限発揮、グループ全体の最適なリスク配分、M&Aを含む機動的な事業再編、グループ全体の強化を図る。グループ子会社でRIZAPと親和性の高い新サービス・新商品を開発する。2020年度売上高3000億円、営業利益350億円を目指す。

新設だが分割前の本体企業と同名のため区別するために「新・」が付く

健康コーポレーション (本体企業名)
新・RIZAP グループ(持株会社となる際に改称された本体企業名)

●スキーム：会社分割 吸収分割

<持株会社データ>

▼持株会社 JPN/兵庫県/外食/東証1部/3397

トリドール(新・トリドールホールディングス)

▲傘下企業 JPN/兵庫県/外食/未上場など/

トリドール分割準備会社(新・トリドール)

会社分割 吸収分割

日付	資本金	有効日
2016/03/15		2016/10/01

トリドールは、10月1日付で持株会社制へ移行する。3月下旬に新会社「トリドール分割準備会社」(神戸市)を設立し、事業を会社分割により10月1日付で移管する。簡易、略式吸収分割となる。持株会社が上場を維持する。経営の効率化を図る。市場環境の変化に柔軟に対応できる体制づくりを目指す。★データ追加 2016/05/30 トリドール分割準備はそれぞれ社名を「トリドールホールディングス」、「トリドール」に変更す。新・トリドールホールディングス、傘下企業に「新・トリドール」を追加。

トリドール分割準備会社(新設時の社名)
新・トリドール(持株会社体制下での改称名)

トリドール(本体企業名)
新・トリドールホールディングス
(持株会社となる際に改称された本体企業名)